



総務委員会 福井県原子力環境監視センター 福井分析管理室 視察の様子(7/13)



建設委員会 市場周辺地区 地下式調整池公園 視察の様子(7/27)



教育民生委員会 フクビ化学工業株式会社 視察の様子(7/30)



経済企業委員会 食と農 Agri Style ほやほや 視察の様子(7/20)

INDEX	
主な内容	
1	8月臨時会 9月定例会の概要
2	主な議案
2～3	委員会審査
3～5	一般質問
5～6	予算特別委員会
7	議会日誌、 市内視察報告
8	議案等の審議結果

9月定例会は、9月4日から25日までの22日間の会期で開かれました。
今定例会では、「平成24年度福井市一般会計補正予算」をはじめとする各
会計補正予算、「福井市防災会議条例等の一部改正について」、「福井市ガス
供給条例の一部改正について」など市長提出の議案20件、報告5件を審議
した結果、議案は15件を原案どおり可決、1件に同意、4件を継続審査と
し、報告については5件を受理しました。
市長提出の議案のうち、追加提出された平成23年度各会計歳入歳出決算
の認定等の議案4件については、これを審査するため、決算特別委員会が
設置され、継続審査として閉会中に審査することに決定しました。
さらに、請願、陳情については、今回新たに提出された陳情1件、6月定
例会において継続審査となっていた請願1件を審議した結果、陳情1件
を採択、請願1件を継続審査とすることに決定しました。
また、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書につ
いて」、「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書につ
いて」及び「地球温暖化対策に関する『地方財源を確保・充実する仕組み』の
構築を求める意見書について」の3件を審議し、いずれも原案どおり可決
し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。
そのほか、市政に対する一般質問を21人の議員が行い、25日、予定した日
程を全部終え閉会しました。

8月 臨時会

副市長の選任について

8月1日、副市長に清水正明氏を選任することに同意しました。

9月 定例会

平成24年度福井市一般会計補正予算を可決

9月定例会は、9月4日から25日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会では、「平成24年度福井市一般会計補正予算」をはじめとする各
会計補正予算、「福井市防災会議条例等の一部改正について」、「福井市ガス
供給条例の一部改正について」など市長提出の議案20件、報告5件を審議
した結果、議案は15件を原案どおり可決、1件に同意、4件を継続審査と
し、報告については5件を受理しました。

市長提出の議案のうち、追加提出された平成23年度各会計歳入歳出決算
の認定等の議案4件については、これを審査するため、決算特別委員会が
設置され、継続審査として閉会中に審査することに決定しました。

さらに、請願、陳情については、今回新たに提出された陳情1件、6月定
例会において継続審査となっていた請願1件を審議した結果、陳情1件
を採択、請願1件を継続審査とすることに決定しました。

また、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書につ
いて」、「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書につ
いて」及び「地球温暖化対策に関する『地方財源を確保・充実する仕組み』の
構築を求める意見書について」の3件を審議し、いずれも原案どおり可決
し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を21人の議員が行い、25日、予定した日
程を全部終え閉会しました。

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。
議案等の審議結果は、8頁に掲載しています。

平成24年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で2億6、182万円、競輪特別会計で6、232万円、ガス事業会計で287万7千円を増額するもので、補正後の予算額は全会計で2、079億3、776万8千円となります。

○一般会計補正予算

平成25年に開園20周年を迎える名勝養浩館庭園の魅力向上を図るための環境改善事業、地域密着型サービス事業所等の施設整備を支援する地域介護福祉空間整備等補助事業、環境負荷を軽減するために自治会が管理する防犯灯のLED化推進を支援する防犯灯設置補助事業などについて、2億6、182万円を増額するものです。

条例

○福井市母子家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について

配偶者からの暴力で裁判所からの保護命令を受けた児童を監護している家庭を医療費等の助成の対象に加えるものです。

○福井市火災予防条例の一部改正について

電気自動車の普及に伴い、火災発生のおそれのある設備として急速充電設備を加え、その基準を定めるものです。

人事案件

副市長

8月臨時会で、吹矢清和氏の後任として、清水正明氏を選任することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

9月定例会で、任期満了となる増田健治氏を引き続き選任することに同意しました。

市会案（議員提出議案）

意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

●地方財政の充実・強化を求める意見書

●北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

●地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

決算特別委員会を設置

平成23年度各会計（一般・特別・企業）決算等について審査するため、9月25日の本会議において10人で構成する決算特別委員会を設置し、委員の選任を行いました。また、10月1日、2日、3日に審査を行いました。

なお、委員会の審査結果は12月定例会において報告されます。

【委員構成】

◎は委員長、○は副委員長

◎加藤 貞信 ○山口 清盛
吉田 琴一 下畑 健二
鈴木 正樹 谷本 忠士
片矢 修一 伊藤 洋一
後藤 裕幸 田中 義乃
(敬称略)

公共交通・まちづくり対策 特別委員会を設置

西口再開発対策特別委員会の調査が終了し、新たに公共交通・まちづくり対策特別委員会を設置しました。

【調査事項】

- ①公共交通の整備促進
- ②福井駅周辺整備
- ③中心市街地の魅力向上

【委員構成】

◎は委員長、○は副委員長

◎皆川 信正 ○西本 恵一
山口 清盛 宮崎 弥磨
堀川 秀樹 青木 幹雄
堀江 廣海 谷本 忠士
村田 耕一 後藤 裕幸
(敬称略)

委員会審査

各特別委員会、各委員長の報告から、主要な質疑等の要旨を紹介します。
(日程順に掲載)

安全安心なまちづくり対策 特別委員会

《原子力災害に対する訓練》

原子力災害に対する訓練も行うべきと考えるが、今後の計画は。

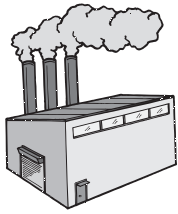
今年度中に市職員を対象にした原子力防災訓練の実施を計画している。この訓練により、安定ヨウ素剤の配布対象となっている敦賀原発から30キロメートル圏内に係る地区でどのような訓練を行うことができるのか検証していきたい。

《総合防災訓練》

地域によって自主防災組織の取り組みに温度差があるが、自主防災組織の活動の中心となるリーダーの育成はどのように進めているのか。

年2回リーダー研修会を開催するほか、各自自主防災組織等に出向いて図上訓練などの教室を開催している。これらを通じて積極的に自助、共助の重要性を啓蒙しながら、地域間の温度差の解消を図っていく。





西口再開発対策特別委員会

《ヒゲ線の延伸》

問 県は延伸に対して前向きであるが、市はどのように考えているのか。

答 西口交通広場の交通結節機能の強化は重要であるが、周辺道路の渋滞を懸念する声もあることから、ヒゲ線延伸については充分調査をしながら地元とも話をしていく。

また、これまでの経緯や、厳しい財政状況の中既存ストックを活用していく観点から、ヒゲ線を撤去することについて議論することは考えていない。

産業活性化対策特別委員会

《革新的技術実用化支援事業》

問 5,000万円以上の設備設置という補助要件は、零細企業には厳しいのではないか。

答 国等が実施する技術・研究開発に対する支援事業の採択を受けることを前提としており、技術力を持つある程度の規模の企業を想定している。

総務委員会

《高規格救急自動車》

問 特殊車両のため入札参加業者が限られてくるが、地元業者育成の観点から、救急車に搭載する医療機器を分離発注したり、落札業者が地元業者から医療機器を調達することはできないのか。

答 救急車内での救命措置は救命用資機材の配置が重要であるため、車両本体と不可分の関係であるとともに、故障時における迅速な対応を図る上でも一括購入が望ましい。

建設委員会

《中心市街地チャレンジ開業支援事業》

問 出店予定の店舗の状況は。また、今まで支援してきた出店者が中心市街地に長く根付くために、開業後の実態調査を行う必要があるのではないか。

答 新たに4店の出店者からまちづくり福井(株)に申請の相談があり、今後、専門家などで構成する中心市街地チャレンジ開業支援事業実行委員会にて審議の上決定することになるが、年度内の出店を見込んでいます。

まちづくり福井(株)に中小企業

診断士の資格を持つ社員がおり、中心市街地に根付くことができるような助言・指導を随時行っている。

経済企業委員会

《マーケット開発支援事業》

問 今回の新技術開発補助の対象となる内容はどのようなものか。

答 光通信用の部品基盤製造において世界シェアの80%を占める市内の中小企業が、ハイブリッドカー等に必要となる誤作動のない「SOI」という構造を用いた高耐圧半導体の基盤を開発するものである。

教育民生委員会

《地域介護福祉空間整備等補助事業》

問 療養病床を転換するなど施設の整備だけでは高齢者の増加に対応できないのではないか。

答 施設サービスを適切に供給するとともに、在宅介護サービスの充実に努め、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を整備するなど、高齢者が住み慣れた地域でできるだけ自立した生活を送れるよう対応していきたい。

一般質問要旨

大型プロジェクト事業

問 今後事業が本格化する福井駅西口中央地区市街地再開発事業の市の負担額は。

答 再開発組合に対する補助金と市施設整備費を合わせて、市の実質的負担額は約20億円と想定している。中長期的な視野での財源見通しを踏まえ、計画的かつ着実に実施していく。

空き家の安全対策

問 老朽化した空き家は倒壊等の恐れがあり危険だが、対策は。

答 空き家の実態を把握するとともに、行政による強制執行等の手続きも含めた空き家対策のあり方について関係所屬会議で条例制定に向けた検討を行っており、早期に結論を出したい。

認知症対策と成年後見制度

問 認知症やひとり暮らし高齢者の増加に伴い、成年後見制度の需要が増大すると考えるが、市民後見人の育成を積極的に図っていくべきではないか。

答 市民後見人とは、弁護士等の資格はないものの社会貢献への意欲や倫理観が高い一般市民が、成年後見に関する一定の知識や態度を身に付け、後見事務を行うものである。

今後、介護サービス利用契約の支援などを中心に、親族等による成年後見が困難な人に対する必要性が高まることから、市民後見人を育成して活用を図り、権利擁護を推進していきたい。

消防救急無線

問 無線のデジタル化の検討結果と整備スケジュール及びその費用は。

答 昨年度、県と県内の9消防本部による福井県消防救急無線デジタル化推進協議会を設立して、電波伝播調査と基本設計を終えており、現在、県内の全消防救急無線を一本化する方式、県内を3つのブロックに分けて整備する方式、各消防本部単独整備方式のどの方式で整備するかを検討している。本年度中に決定し、平成25年度に実施設計、平成26年度から2年で整備する予定である。費用は単独整備方式の場合約14億円との試算で、うち6億円は国からの財政措置を見込んでいます。

若者の雇用対策

問 若者の雇用機会の拡大や、U・Iターン促進のために、どのような対策をとっているのか。

答 学生と企業のマッチングを進めるため、学生と市内企業の社員が仕事内容や地元就職について対話できるセミナーを8月に初めて開催した。その他、U・Iターン就職状況調査の実施、就職応援メールマガジンの配信、合同企業説明会の開催等で、若者の就職を支援しており、今後さらに家族への情報発信や学生のニーズに応じた情報発信を行っていききたい。

福祉支援体制

問 民間事業者等と連携し、きめ細やかで総合的な福祉支援体制を構築する考えはないのか。

答 現在、乳酸菌飲料宅配事業業者によるひとり暮らし高齢者宅での声かけや、郵便局による高齢者等の情報提供を依頼している。また4月から、水道・ガスの使用が全くなかった世帯の情報をもとに市企業局から福祉関係課へ連絡している。こうした通報や連絡が高齢者等の安否確認に繋がるため、今後も特に各世帯を訪問する機会の多い業

種の事業者とは、複数のきめ細やかな見守り体制を構築していきたい。

原子力防災対策

問 放射線量や風向などのデータを確認できる放射線量表示装置の設置を県が計画しているとのことだが、市民はもちろん県内外から訪れた人も見ることができるところに設置してはどうか。

答 画しているとのことだが、市民はもちろん県内外から訪れた人も見ることができるところに設置してはどうか。広く情報を提供するため、市民が訪れる機会の多い市庁舎ロビーに今年度末までに設置する予定である。

問 福井市全域が含まれる、原発から30〜50キロメートル圏内の避難計画が必要ではないか。

答 国の防災基本計画の見直しにより、原発から30キロメートル圏内の自治体は広域避難計画を策定すること、また、大規模広域災害時の円滑な避難のため、他自治体との協定締結や具体的な避難・受入方法を含めた手順等を定めるよう努めることとされた。30〜50キロメートル圏内の避難計画の策定については、市外や県外への広域的な避難となるため、国や県

による対応や調整が必要不可欠であり、国、県に対し強く働きかけていく。

福井駅西口周辺整備

問 屋根付き広場の具体的な計画内容はいつごろ示せるのか。

答 現在、機能配置及び付帯設備等の検討や、運営組織及び利用上のルール等についての調査を行っており、11月には具体的な内容を取りまとめて基本的な考え方を市民に示したい。

いじめ対策

問 見えにくいいじめを発見するための対策は、

答 平成22年12月にいじめの未然防止や発見方法、発生したときの対応等について具体的に示したいいじめ対応マニュアルを作成し、いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こり得ること、また誰もが被害者にも加害者にもなり得ることを十分に認識して取り組むよう各学校に指導している。また、教員による日常観察や生活状況アンケートの定期的実施、教育相談活動の充実、教師間の情報交換、家庭・地域との連携を通し

て、見えにくいいじめに対しても情報を把握できるよう取り組んでいる。

生徒の問題行動への対応

問 学校で問題行動等が発生したときの対応マニュアル策定の見通しは、

答 12月末を目途に問題行動の未然防止や発生時の対応、教育委員会をはじめ諸機関との連携方法をまとめたマニュアルを作成し、それを基本として、各学校において問題発生時の対応について見直しを行う。

第八次福井市総合計画

問 総合計画に示す基本理念や将来目標、将来都市像は、計画期間の5年で達成できるのか。

答 施策ごとに設けた目標を達成することが、基本目標を成し遂げ、将来都市像を作り上げるものと考えている。具体的には、副市長2人制の導入などによるトップマネジメントの強化と、年度ごとの部局マネジメント方針等を通して、達成に向け迅速に対応していく。

わかりやすい行政情報発信

問 市政に対する理解と信頼を得て市民の満足度を高めるには、的確で分かりやすい情報を提供し、説明責任を果たすことが重要と考える。例えばホームページ上で情報が分かりにくかった農林水産加工品認定事業について、情報発信は強化されたのか。

答 認定商品のページに直接アクセスできるよう、観光情報サイトのふくいCityナビや関係団体のホームページへのバナーの設置を進めている。また、今年度中にホームページをリニューアルする予定で、単に認定商品を紹介するだけでなく、消費者の視点に立ったカテゴリ別の分類や、認定商品を活用したレシピの紹介を盛り込むなど、よりわかりやすく興味を持てるような内容となるよう工夫していく。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、21人の議員が一般質問を行いました。
(※ 議員名の前に付いている番号は質問順、質問内容の掲載は大項目のみ)

(敬称略)

①石丸 浜夫 1 第六次福井市総合計画について 2 大型プロジェクト事業について 3 税収減の対応について 4 部局マネジメント方針について	②今村 辰和 1 水道施設の豪雨災害への備えについて 2 今年度の除雪体制について 3 公共下水道について 4 本市における生徒の暴力行為の現状と対応について	③皆川 信正 1 老朽危険空き家の安全対策について 2 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について 3 総合交通について 4 赤ちゃんの予防ワクチン接種について 5 市施設の統一入場券発行の考え方について
④島川 由美子 1 認知症対策と成年後見制度について 2 福祉避難所について	⑤堀川 秀樹 1 市民の考える県都と再開発デザインについて 2 福井（ふくどん）フクボガノフについて 3 I C O U S Aカード利用状況について	⑥後藤 裕幸 1 学校の安全対策について 2 消防救急無線について 3 福井石油備蓄基地における津波等の防災対策について
⑦伊藤 洋一 1 日中韓領土問題に伴う友好都市関係について	⑧下畑 健二 1 防災対策について 2 教育問題について 3 若年層の雇用環境の改善について 4 空き家対策について	⑨村田 耕一 1 職員の心の健康問題対策について 2 本市の福祉総合支援体制に向けた取り組みについて 3 消費税増税に伴う地方への影響について
⑩藤田 諭 1 10年後の福井市のビジョンについて	⑪田中 義乃 1 福井駅西口周辺整備について	⑫青木 幹雄 1 本市のまちづくりについて 2 農山漁村地域について
⑬吉田 琴一 1 高速交通体系の確立と福井北インターチェンジ周辺の拠点化整備について 2 放射線や津波等の防災対策について 3 配水池の施設耐震化対策について	⑭鈴木 正樹 1 第5期介護保険事業計画の問題点と対策について 2 生活保護の相談のあり方について 3 原発防災を進める上での市の姿勢について 4 映像文化センター廃止による事業の存廃について	⑮西本 恵一 1 国の政策の本市への影響について 2 防災対策について 3 いじめ対策について
⑯西村 公子 1 津波対策について 2 北陸新幹線延伸や足羽川ダムなどの大型公共事業の復活について 3 指定管理者制度について 4 至民中学校の暴力行為への対応と今後の対策について	⑰堀江 廣海 1 第六次福井市総合計画について 2 福井市の農業、農村振興及び諸問題について	⑱玉村 正人 1 中学校生徒暴力行為等の検証について
⑲片矢 修一 1 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について 2 重要要望書について	⑳奥島 光晴 1 中学校における武道授業の目指すものについて 2 福井市休日急患センターについて 3 足羽山公園の下水処理について	㉑泉 和弥 1 まちづくりと連携した地域公共交通活性化支援事業について 2 情報化社会に対応したわかりやすい行政情報の提供について

委員の変更

5名の委員から辞任願が提出されたため、9月4日の本会議において新たに5名の委員の選任を行いました。

【辞任】

山口 清盛 西本 恵一

石丸 浜夫 泉 和弥

田中 義乃 (敬称略)

【選任】

谷口 健次 堀川 秀樹

青木 幹雄 今村 辰和

奥島 光晴 (敬称略)

審査結果

9月4日の本会議において、予算特別委員会に付託された各予算議案及び市政上の重要案件について審査するため、9月19日及び20日に委員会を開催しました。

審査の結果、付託された予算議案は、いずれも原案どおり可決しました。

(議案名は8頁参照)

予算特別委員会

委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介します。

主な質疑

福井駅西口の空間デザイン

問 11月中に基本方針をまとめるとのことだが、期間的にヒゲ線の延伸についての市民の意見が十分に集約されないのではないかと。また、基本方針にはヒゲ線の延伸についての考え方も含まれるのか。

答 ヒゲ線の延伸については従来から様々な意見をいただいております。今後できるだけ早く延伸の具体案と交通調査の検証結果を公表し、市民をはじめ地元商店街、西口全体空間デザイン専門家会議などから幅広く意見を集約した上で、ヒゲ線延伸の考え方など必要な交通機能の配置も含めて11月中に基本方針を策定する予定である。



国道158号バイパス

問 新しい道路ができることによって旧道沿いがさびれていくことが懸念されるが、地域の活力を取り戻す有効な策は考えられないのか。

答 多くの人で賑わう「そばまつりinみやま」などのイベントと連携した取り組みが考えられるほか、旧道沿いの店舗へ誘導するための方法として、バイパス沿いへの看板設置も有効な策である。

問 市の職員としての基本的な心構えはどうあるべきか。また、問題等が生じた場合は適切な判断や対応が必要だが、職員の育成、指導はどのように行っているのか。

職員の意識改革

答 市民目線に立って仕事をすることが必要であり、窓口等での対応力を高めるため、若手職員に対する接遇やクレーム対応の研修を行うほか、所属長による指導を行っている。

市からの配布物

問 配布物の綴じ方や規格が統一されていない

め整理整頓が難しく、自治会長の負担となっているが、規格を統一できないか。

答 簡易な配布物は原則横書きの縦長A4サイズで左綴じとしているが、市政広報や議会だより等、見やすさや読みやすさを前面に出しているものは縦書きで右綴じとなっている。今後は、自治会長が配布するときの仕分けや配布物の保存という視点も勘案し、全体的な規格として統一できないか研究していきたい。

問 再生可能エネルギーの活用に向けて、どのように取り組んでいくのか。

再生可能エネルギー

答 今年度設立した福井市再生可能エネルギー導入促進協議会で事業者向けの講習会を開催しており、今後は同協議会や福井市環境推進会議において太陽光発電や小水力発電の有効活用について検討を重ねていく。

ジェネリック医薬品

問 ジェネリック医薬品の使用率を上げることで医療費の削減が図れると考えるが、ど

のような施策を行っているのか。

答 ホームページやケーブルテレビで周知を図っているほか、今年1月から、先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担の差額を記載した、ジェネリック医薬品利用差額通知書を送付している。昨年12月から6カ月間の使用実績では、ジェネリック医薬品を使用したことで、約2,200万円の医療費削減効果があったと考えられる。

問 商店街の後継者不足という課題にどのように対応するのか。

商店街の活性化

答 商店街を盛り上げていくには核となる若手のリーダーが必要である。福井県商店街振興組合連合会では次世代を担う若手リーダー養成のための研修会を開催しており、市としても福井市商店街連合会等と協力して若手リーダーの育成に努めていきたい。

食育

問 食育に対する市民の理解を深めるため、日本

で初めて食育を提唱した本市出身の石塚左玄を活用した取り組みをしていくことは考えているのか。

答 石塚左玄の教えを発信していくことを念頭に置いてシンポジウムの継続的な開催を考えており、来年1月には、旬の食材を食べることや地産地消の食生活の大切さをテーマにしたシンポジウムを予定している。今後は、石塚左玄の教えを生かして本市の食育の発信に努めていきたい。

問 空いている植樹枡の数はどれくらいあるのか。また、今後それらの空き枡に補植を行う計画はあるのか。

街路樹の植樹枡

答 現在空き枡は約700箇所あるが、今年度は花月新町線の空き枡に補植を行う予定であり、来年度以降も計画的に補植をしていく。

ゲリラ豪雨対策

問 9月6日に発生した道路冠水を踏まえてどのような対策を考えているのか。

答 浸水被害の多い11地区では、これまで本市の計画

降雨強度に対応できる雨水貯留管などの整備を行ってきたおり、現時点ではこれ以上の大規模な施設整備は困難である。今後は、貯留管などの整備効果をより高めるため、部分的に雨の集水方向の分散化を図ることや応急的ポンプの増強などを検討する。また、町屋地区については一級河川底喰川の早期改修を県に強く要望していく。

大雨時の情報発信

問 市内の冠水状況や排水ポンプ・雨水貯留管の水位情報について、インターネットを活用してリアルタイムに発信することはできないのか。

答 冠水状況の情報発信についてはライブカメラや水位計を活用する方法が考えられるが、映像や測定の範囲が限定されることから、冠水や浸水状況の全体的な情報を市民に提供できないという点で問題がある。また、冠水や浸水被害の予測は、降雨状況や下流の下水管渠、河川の状況も併せて総合的判断が必要となることから、排水ポンプや貯留管などの水位情報のみでは浸水範囲などを判断する材料にはならないため、個別の情報のみの提供は現時点では難しい。

議会日誌 (7～9月)		議長	出席
7月3日	都市行政問題研究会監事会(東京都)	○	
12日	全国市議会議長会第188回理事会(東京都)	○	
17日	都市行政問題研究会役員会(福井市)	○	
19日	議会運営委員会、議員全員協議会	○	
25日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動(大阪市)	○	
26日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会	○	
27日	議会運営委員会	○	
8月2日	議会運営委員会	○	
8日	新幹線・福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動(東京都)	○	
20日	北信越市議会議長会理事会(金沢市)	○	
21日	都市行政問題研究会第96回総会(東京都)	○	
22日	全国特例市議会議長会役員会、実行運動(東京都)	○	
23日	安全安心なまちづくり対策特別委員会、西口再開発対策特別委員会	○	
24日	産業活性化対策特別委員会	○	
28日	議員全員協議会、議会運営委員会、議会改革特別委員会	○	
28日	福井県市議会議長会県要望活動、定期総会	○	
8月臨時会		議長	出席
8月1日	議員全員協議会、本会議		
9月定例会		議長	出席
9月4日	本会議		
5日	議会運営委員会		
10日	本会議		
11日	本会議		
12日	本会議		
13日	総務委員会、建設委員会		
14日	教育民生委員会、経済企業委員会		
19日	予算特別委員会		
20日	予算特別委員会		
21日	議会運営委員会、議会改革特別委員会		
25日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議		

市内視察報告

7～9月に各常任委員会及び各特別委員会が市内の施設を視察しました。

委員会名	開催日	視察先
総務委員会	7月13日(金)	福井県原子力環境監視センター 福井分析管理室
		福井県消防学校
経済企業委員会	7月20日(金)	(株)アジチファーム 食と農 Agri Style ほやほや
		(有)栗の里農園
		テクノポート福井
建設委員会	7月27日(金)	福井鉄道福武線 泰澄の里駅
		市場周辺地区 地下式調整池公園
教育民生委員会	7月30日(月)	フクビ化学工業(株)
安全安心なまちづくり対策特別委員会	9月24日(月)	福井県立病院 緊急時医療対策施設
		福井県原子力環境監視センター 福井分析管理室
産業活性化対策特別委員会	9月26日(水)	美山町森林組合

(8月臨時会) 議案等の審議結果			
議案番号	件名	審議	結果
第64号議案	副市長の選任について	8月1日	同意
(9月定例会)			
議案番号	件名	審議	結果
第65号議案	平成24年度福井市一般会計補正予算	9月25日	原案可決
第66号議案	平成24年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃
第67号議案	平成24年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃
第68号議案	平成24年度福井市ガス事業会計補正予算	〃	〃
第69号議案	福井市防災会議条例等の一部改正について	〃	〃
第70号議案	福井市母子家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃
第71号議案	福井市火災予防条例の一部改正について	〃	〃
第72号議案	福井市ガス供給条例の一部改正について	〃	〃
第73号議案	福井市簡易ガス供給条例の一部改正について	〃	〃
第74号議案	工事請負契約の締結について(中消防署新築工事)	〃	〃
第75号議案	財産の取得について(消防ポンプ自動車(CD-I型))	〃	〃
第76号議案	財産の取得について(15mはしご付消防車)	〃	〃
第77号議案	財産の取得について(高規格救急自動車)	〃	〃
第78号議案	財産の取得について(中藤小学校給食室用厨房機器)	〃	〃
第79号議案	市道の路線の認定について	〃	〃
第80号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	同意
第81号議案	平成23年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	〃	継続審査
第82号議案	平成23年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃
第83号議案	平成23年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃	〃
第84号議案	平成23年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃
第36号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求に係る訴えの提起について)	9月4日	受理
第37号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求に係る訴訟の和解について)	〃	〃
第38号報告	まちづくり福井株式会社の平成23年度決算に関する報告について	〃	〃
第39号報告	まちづくり福井株式会社の平成24年度事業計画に関する報告について	〃	〃
第40号報告	平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月25日	〃
市会案第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	〃	原案可決
市会案第9号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書について	〃	〃
市会案第10号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書について	〃	〃

(9月定例会) 請願・陳情等の審議結果			
請願・陳情番号	件名	審議	結果
請願第4号	公的年金の引下げに反対する意見書提出について	9月25日	継続審査
陳情第9号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	〃	採択



インターネットで会議録がご覧になれます

福井市議会の平成8年以降の本会議録及び平成18年6月以降の委員会顛末書をホームページでご覧いただけます。
市議会のホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://www.city.fukui.lg.jp/d570/sigikai/index.html>

次回

12月定例会です

(日程が決まり次第ホームページでお知らせします)

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

- 本会議 (席数 91席、車イス用 6席)
- 常任委員会
 - 総務
 - 建設
 - 教育民生
 - 経済企業
- 特別委員会
 - 公共交通・まちづくり対策
 - 産業活性化対策
 - 安全安心なまちづくり対策
- 議会改革

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課

TEL 076-20-5510

※なお、本会議・予算特別委員会の模様は、ふくチャンネル121chで生中継及び録画放映されます。

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。